



トルコリラ投資はココを見よ！

プロ
直伝！

成功するための 分析チェックリスト



作成日：2024年11月26日

はじめに

トルコリラは高金利通貨として、スワップポイントを狙った取引において人気を集めています。一方で地政学的リスクや為替レート不安定性といったリスクも存在し、初心者には難易度が高いというイメージもあるでしょう。本資料では、トルコリラ投資で成功するために重要な分析ポイントを10の項目にまとめ、それぞれについて初心者にもわかりやすく解説します。ぜひ本資料を通じてトルコリラに対する理解を深め、より良い投資判断に役立てていただくと幸いです。

※本レポートは、2024年11月26日時点の情報に基づいて作成されています。市場環境の変化等により、内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

①トルコ中銀(CBRT)の政策金利	3
②トルコ中銀(CBRT)の政策金利決定内容	4
③トルコインフレ率	5
④大手格付け会社の評価	6
⑤為替レート(ドル円)	7
⑥為替レート(トルコリラ円)	8
⑦日本銀行の政策金利	9
⑧エルドアン大統領	10
⑨トランプ大統領	11
⑩地政学リスク	12
MarketNEXTのご紹介	13
免責事項	14

①トルコ中銀(CBRT)の政策金利

通貨に投資する際、その国の中央銀行が定める政策金利に注目する必要があります。外為どっとコムで取り扱っている通貨を持つ国について、各国の政策金利は、外為どっとコムのホームページでご確認いただけます。

2024年11月現在、トルコ中銀は利上げについては言及しておらず、インフレの鎮静化にともなって利下げが行われる可能性が高いと見られます（現時点の50%の政策金利は最も高い状態）。

金利据え置きとなった場合、高金利を維持しているという意味で、スワップポイント目的の中長期投資目線で評価すれば価値がある金融政策の判断と言えます。仮に利下げとなった場合でも、今後のインフレの動向次第となるため即りラ下落につながるかは判断できず、その場合は様子見が相応と考えられます。





チェックする場所：外為どっとコムHPの「政策金利」





外為どっとコムホームページ > マーケット情報 > 政策金利

- ・発表結果
- ・次回発表日

今すぐチェック▼

2024年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
 日本	-0.10	-0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.25	0.25	0.25	0.25		
 米国	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.00	5.00	4.75	
 中国	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45	3.35	3.35	3.35	3.10		
 トルコ	45.00	45.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00		

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
 日本	23		19	26		14	31		20	31		19
 米国	31		20		1	12	31		18		7	18
 中国	22	20	20	22	20	20	22	20	20	21	20	20
 トルコ	25	22	21	25	23	27	25	22	19	17	21	26

チェックポイント

- 利上げ・・・買い目線
- 据え置き・・・買い目線
- 利下げ・・・様子見（買わない）

②トルコ中銀(CBRT)の政策金利決定内容

近年、トルコ中銀にとってインフレの抑え込みが大きな課題となっています。現在のトルコのインフレ率は、他国と比べると依然として高いものの、過去と比べると低下傾向となっています。

ポイントは、トルコ中銀が想定するシナリオでインフレが推移しているか、ということです。インフレ上昇を抑え込んでいる旨の中銀発表であれば評価はできると言えるでしょう。一方で、想定外の状況である旨の発表があった場合はリラ安の懸念が出てくるため、中長期投資は慎重にならざるを得ません。

チェックする場所：外為どっとコムマネ育チャンネル トルコ系記事

マネ育ch > トルコリラ

トルコリラ

【執筆者】

- ・外為総研
- ・野村雅道氏



2024-11-19

FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し

総括FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し（通貨11位、株価首位）予想レンジトルコリラ/円4.2-4.7＊政策金利は50%で据え置きか＊今月のリラは健闘、年間では11位。株は最強＊4か月連続経常黒字、源泉はインバ...



2024-11-17

トルコリラ/円 見通し「全面高のドルに対しても底堅いリラ...中銀会合は金利より政策スタンスに注目」注目の高金利通貨 11月17日号

メキシコペソや豪ドルなど投資家にとって魅力的な通貨の最新状況について、これまでの動向や注目ポイントについて解説します。作成日時：2024年11月15日15時00分執筆・監修：株式会社外為どっとコム総合研究所 調査部長 神田卓也X (Twitter) @KandaTakuya...



2024-11-15

FX/為替「注目のFX週間イベント 来週の為替はどう動く？」11/18～11/24

▼北米（米国・カナダ）トランプ・トレード継続となるか？▼欧州（ユーロ圏・英国）ECB、12月利下げ幅を巡りラガルド総裁の発言に注目 ▼アジア・オセアニア（日本・中国・豪州・NZ）植田日銀総裁の発言から12月追加利上げの可能性を探る ▼新興国（トルコ・...

今すぐチェック▼

チェックポイント

トルコ中銀、総裁などの発言内容でインフレについてどう評価しているか

- ・「インフレおさえこめる、できている」・・・買い目線
- ・上記以外・・・様子を見る

③トルコインフレ率

「②トルコ中銀(CBRT)の政策金利決定内容」とも関連しますが、トルコでは目下インフレの抑え込みが重要課題となっています。インフレ動向を押さえる上で注目すべきなのが、毎月、月初に発表されるトルコの消費者物価指数（CPI）です。この指数が低下していればひとまず評価できるでしょう。また、事前にトルコ中銀が低下幅について見通しを示していた場合は、それに近い数値であれば「想定内」として評価できます。一方で、指数が上昇していた場合にはインフレ悪化を示唆するものとして注意が必要であり、常態化するとリラ安が想起されます。

チェックする場所：外為どっとコムHPのトルコの経済指標（物価関連）

外為どっとコムホームページ > マーケット情報 > 各国経済指標 > 国名を選択(トルコ)

【物価関連】

上の数字(小さい方)は「前月比」

下の数字(大きい方)は「前年同月比」

今すぐチェック▼

為替レート・FXレート		2024年											
為替チャート・FXチャート		国を選択											
株価指数・商品CFDレート		米国 ニュージーランド 豪州 日本											
株価指数・商品CFDチャート		スイス ドイツ フランス 英国											
ニュース		ユーロ圏 カナダ 南アフリカ 中国											
経済指標カレンダー		メキシコ ノルウェー スウェーデン トルコ											
各国経済指標		シンガポール ロシア											
IMMポジション													
政策金利													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雇用関連													
失業率		9.1	8.7	8.6	8.5	8.4	9.2	8.8	8.6	8.6			
単位：%													
物価関連													
消費者物価指数 *3		6.70	4.53	3.16	3.18	3.37	1.64	3.23	2.47	2.97	2.88		
単位：%													
消費者物価指数 *3		64.86	67.07	68.50	69.80	75.45	71.60	61.78	51.97	49.38	48.58		
単位：%													

チェックポイント

トルコの消費者物価指数（CPI）で、前年同月比が

- ・ 小幅に低下傾向・・・買い目線
- ・ 急激に減っている・・・様子を見る
- ・ 急激に増えている・・・様子を見る

④大手格付け会社の評価

トルコ国債の格付けも重要な分析ポイントです。格付け機関は、各国が発行する債券（国債）の信用力や債務不履行リスクなどについて評価を行っており、世界中の投資家がこれらの評価を参考にしています。格付けが引き下げられた場合は相場変動につながることもあります。

代表的な格付け機関として、「ムーディーズ・インベスターズ・サービス」「S&P・グローバル・レーティング」「フィッチ・レーティングス」の3社の評価を確認するとよいでしょう。下方修正か否かは、内容を解説するレポートなどに記載されることが多いので、格付けルールの詳細まで覚える必要はありません。

トルコ国債の格付けに更新があった場合などは、外為どっとコム「マネ育チャンネル」のトルコ系記事で取り上げています。また、格付けに関するサイトをチェックするのもよいでしょう。

チェックする場所：外為どっとコム マネ育チャンネルのトルコ系記事など

- ・外為どっとコムマネ育チャンネルトルコ系記事

今すぐチェック▼



2024-11-19

FX「今月は健間、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し

総括 FX「今月は健間、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し（通貨11位、株価首位）予想レンジトルコリラ/円4.2-4.7※政策金利は50%で据え置きか※今月のリラは健間、年間では11位。株は最強※4か月連続経常黒字、源泉はインバ...



2024-11-17

トルコリラ/円 見通し「全面高のドルに対しても底堅いリラ...中銀会合は金利より政策スタンスに注目」注目の高金利通貨 11月17日号

メキシコペソや豪ドルなど投資家にとって魅力的な通貨の最新状況について、これまでの動向や注目ポイントについて解説します。作成日時：2024年11月15日15時00分執筆・監修：株式会社外為どっとコム総合研究所 調査部長 神田卓也X（Twitter）@KandaTakuya ...



2024-11-15

FX/為替「注目のFX週間イベント 来週の為替はどう動く？」11/18～11/24

- ・webで「トルコ国債の格付け」などで検索

🔍 トルコ国債の格付け

チェックポイント

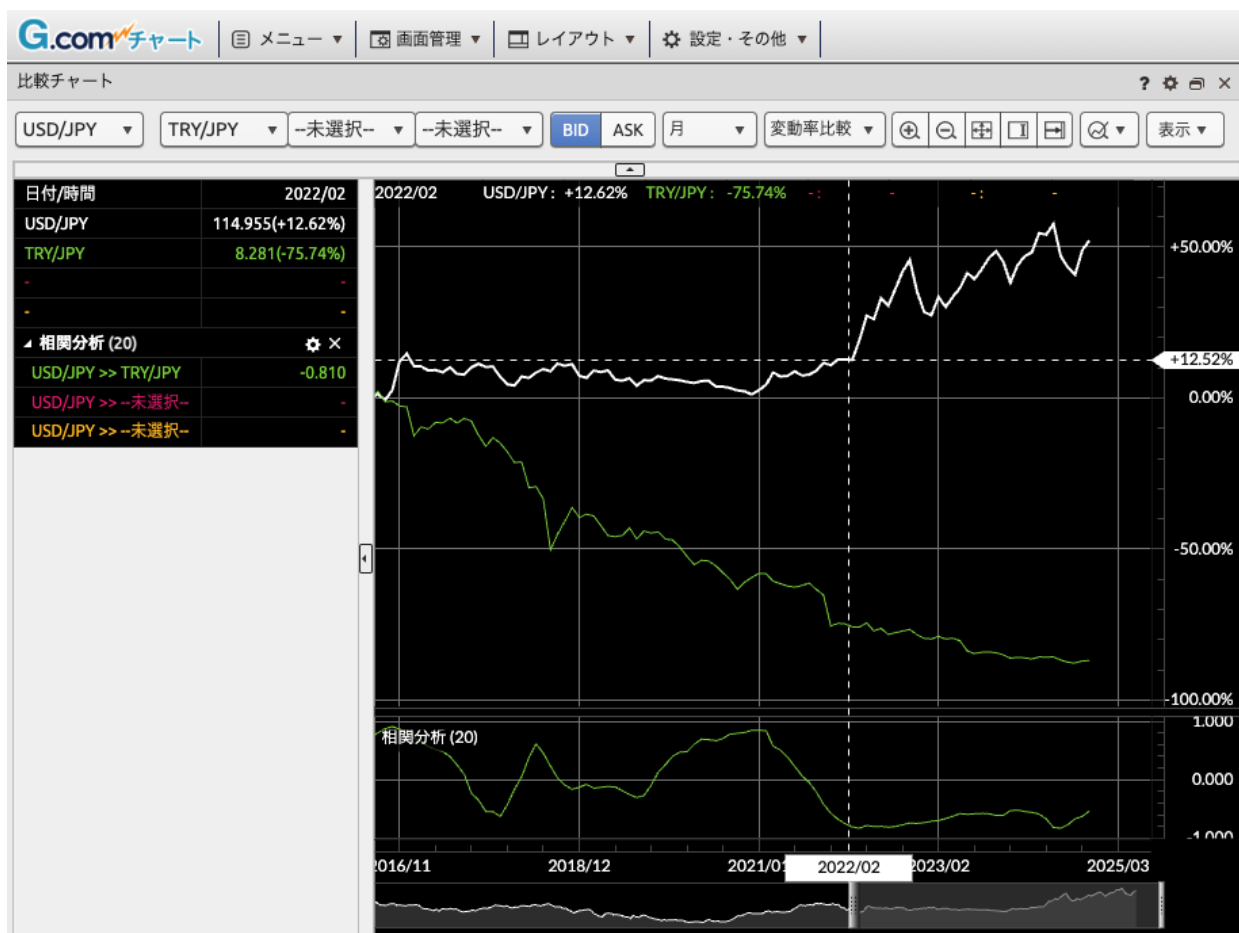
- 上方修正・・・買い目線
- 現状維持・・・買い目線
- 下方修正・・・様子を見る

⑤為替レート（ドル円）

トルコリラ円は長期的に下落基調で推移してきましたが、ドル円の上昇とともにトルコリラ円の下落幅は縮小しました。トルコリラ安よりも円安が強いと、結果的にトルコリラが上昇することになるためです。

トルコリラ円の下落幅が縮小してきたのは、ドル円が120円を超えたあたりからです。概ね1ドル＝120円以上は円安と定義し、この水準を上回る円安ドル高の状況においては、トルコリラ円は買い目線と判断できる可能性があります（購買力平価で試算した場合、様々な見方がありますが、110円前後がドル円の適正值とされます）。

チェックする場所： G.comチャート



複数通貨ペアの比較チャートも利用できる
外貨ネクストネオのG.comチャートについてはこちら▶

今すぐチェック▼

チェックポイント

トルコリラ安よりも円安が強いと、結果的にトルコリラが上昇する。
ドル円120円以上の円安ドル高・・・買い目線

⑥為替レート（トルコリラ円）

「⑤為替レート（ドル円）」で説明した通り、円安トレンドになると結果的にトルコリラが上昇する場合があります。

それを踏まえると、2025年の相場において円安になりやすい状況にも関わらずトルコリラ円が過去最安値を更新した場合は、トルコリラが相当弱くなっている可能性があり、リラ安が加速しかねない状況として要注意となります。

リラ安の速度はいずれ収まると考えられるものの、積極的なリラ買いは控えたいところです。再度リラが上昇してきた局面での投資に可能性を見出しましょう。

チェックする場所： G.comチャート



多機能チャートで相場分析をサポート！
外貨ネクストネオ リッチアプリ版についてはこちら▶

今すぐチェック▼

チェックポイント

トルコリラ/円が明確に4円を割り込む → 様子を見る または ポジションを決済

⑦日本銀行の政策金利

2024年11月時点で日本の政策金利は0.25%、トルコの政策金利は50.00%であり、両者には大きな差があります。

日銀が利上げを行った場合、トルコリラの政策金利との金利差が縮小し、計算上はスワップポイント減少につながるため、トルコリラ円買いには不利に働きます。

しかし両国の圧倒的な金利差が覆ることは想定しづらいため、日銀が極端な利上げをしない限りは、影響は軽微になると予想されます。

チェックする場所：外為どっとコムマネ育チャンネル ドル円系記事

米ドル



2024-11-20

ドル/円 今日の注文情報「昨日泣いたロングが救われる、156円に厚めの売り」 2024/11/20 17:00

指値・ストップ注文のレート水準と数量がわかる「外為注文情報」から今後のポイントを探ります。



2024-11-20

FX実践解説、相場分析 & リアルトレード、ドル円などの注目材料 (2024年11月20日)

外為どっとコム総合研究所のTEAMハロonz (<https://twitter.com/TeamHallons>) が平日毎日21時よりライブ配信しています。番組では、注目材料の紹介、テクニカル分析でエントリーポイントや利食い・損切りポイントを解説し、実際にリアルトレードも行っていま…



2024-11-20

【FX】夜ライブ | ロシアリスクで昨日はドル円急落…これは一過性？ 2024/11/20 20:00 #外為ドキッ

最新のFXニュースや相場予想と共に、ドル円などでのリアルタイム短期トレードを生配信 ※ライブ配信後は、録画動画に切り替わります。番組紹介：外為どっとコム総合研究所の社員が20時00分からライブ配信を行います FXの損失を減らし利益を出したい、なぜ…

今すぐチェック▼

チェックポイント

- 利上げ・・・様子を見る
- 利下げ・・・買い目線
- 現状維持・・・買い目線

⑧エルドアン大統領

リラ安が進んだ背景には、トルコのエルドアン大統領の利下げ重視の姿勢があります。インフレ下では利上げを行うというのが金融政策の定石ですが、トルコではエルドアン大統領の「高金利は高インフレにつながる」という考えから高インフレにも関わらず利下げが行われた結果、さらにインフレが加速しリラ暴落を招きました。

その後トルコ中銀はインフレ抑制に向けて利上げに転じ、リラ安圧力は徐々に緩和されました。しかし今後も強い大統領権限を持つとされるエルドアン氏の変節でリラ相場が大きく動く可能性は捨てきれず、発言内容に注意が必要となります。

チェックする場所：外為どっとコムマネ育チャンネル トルコ系記事

マネ育ch > トルコリラ

トルコリラ

【執筆者】

- ・外為総研
- ・野村雅道氏



2024-11-19

FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し

総括 FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し（通貨11位、株値首位）予想レンジ トルコリラ/円4.2-4.7 ＊政策金利は50%で据え置きか ＊今月のリラは健闘、年間では11位。株は最強 ＊4か月連続経常黒字、源泉はインバ…



2024-11-17

トルコリラ/円 見通し「全面高のドルに対しても底堅いリラ…中銀会合は金利より政策スタンスに注目」注目の高金利通貨 11月17日号

メキシコペソや豪ドルなど投資家にとって魅力的な通貨の最新状況について、これまでの動向や注目ポイントについて解説します。作成日時：2024年11月15日15時00分執筆・監修：株式会社外為どっとコム総合研究所 調査部長 神田卓也X (Twitter) @KandaTakuya …



2024-11-15

FX/為替「注目のFX週間イベント 来週の為替はどう動く？」11/18～11/24

▼北米（米国・カナダ）トランプ・トレード継続となるか？ ▼欧州（ユーロ圏・英国）ECB、12月利下げ幅を巡りラガルド総裁の発言に注目 ▼アジア・オセアニア（日本・中国・豪州・NZ）植田日銀総裁の発言から12月追加利上げの可能性を探る ▼新興国（トルコ・…

今すぐチェック▼

チェックポイント

「高金利がインフレの元凶」発言のトーン

- ・言っていない・・・買い目線
- ・言い出した・・・様子を見る

⑨ トランプ大統領

トランプ氏は過去にトルコへの規制を行っており、次期アメリカ大統領となるトランプ氏の対トルコ規制に関する発言がリラ安に繋がる可能性に注意が必要です。

ただし、第二期トランプ政権は対中政策に集中する可能性もあり、対トルコ関連の発言による相場への影響は一時的な変動で収まるかもしれません。

チェックする場所：外為どっとコムマネ育チャンネル トルコ系記事

マネ育ch > トルコリラ

トルコリラ

【執筆者】

- ・ 外為総研
- ・ 野村雅道氏



2024-11-19

FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し

総括 FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し（通貨11位、株価首位）予想レンジトルコリラ/円4.2-4.7＊政策金利は50%で据え置きか＊今月のリラは健闘、年間では11位。株は最強＊4か月連続経常黒字、源泉はインバ...



2024-11-17

トルコリラ/円 見通し「全面高のドルに対しても底堅いリラ...中銀会合は金利より政策スタンスに注目」注目の高金利通貨 11月17日号

メキシコペソや豪ドルなど投資家にとって魅力的な通貨の最新状況について、これまでの動向や注目ポイントについて解説します。作成日時：2024年11月15日15時00分執筆・監修：株式会社外為どっとコム総合研究所 調査部長 神田卓也X（Twitter）@KandaTakuya...



2024-11-15

FX/為替「注目のFX週間イベント 来週の為替はどう動く？」11/18～11/24

▼北米（米国・カナダ）トランプ・トレード継続となるか？▼欧州（ユーロ圏・英国）ECB、12月利下げ幅を巡りラガルド総裁の発言に注目 ▼アジア・オセアニア（日本・中国・豪州・NZ）植田日銀総裁の発言から12月追加利上げの可能性を探る ▼新興国（トルコ・...

今すぐチェック▼

チェックポイント

トルコへの規制・・・様子を見る

⑩地政学リスク

地理的に中東に近いことや、エルドアン大統領がパレスチナを強く支持する立場を取っていることなどが、トルコリラ買いにおいて注意すべき地政学リスクとなります。

例えば2024年7月にはエルドアン大統領がパレスチナ人支援のためイスラエルの戦争への介入を示唆しており、こうした動きに伴う地政学リスクの高まりがリラを圧迫することがあります。

2024年11月時点ではトルコが紛争に巻き込まれる見通しは無いものの、状況変化によりリラ安につながる可能性がある為、今後の動きを注視する必要があります。

チェックする場所：外為どっとコムマネ育チャンネル トルコ系記事

マネ育ch > トルコリラ

トルコリラ

【執筆者】

- ・ 外為総研
- ・ 野村雅道氏



2024-11-19

FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し

総括 FX「今月は健闘、年間では11位。株は最強、今週は政策金利決定」トルコリラ見通し（通貨11位、株価首位）予想レンジトルコリラ/円4.2-4.7※政策金利は50%で据え置きか※今月のリラは健闘、年間では11位。株は最強※4か月連続経常黒字、源泉はインバ…



2024-11-17

トルコリラ/円 見通し「全面高のドルに対しても底堅いリラ…中銀会合は金利より政策スタンスに注目」注目の高金利通貨 11月17日号

メキシコペソや豪ドルなど投資家にとって魅力的な通貨の最新状況について、これまでの動向や注目ポイントについて解説します。作成日時：2024年11月15日15時00分執筆・監修：株式会社外為どっとコム総合研究所 調査部長 神田卓也X（Twitter）@KandaTakuya…



2024-11-15

FX/為替「注目のFX週間イベント 来週の為替はどう動く？」11/18～11/24

▼北米（米国・カナダ）トランプ・トレード継続となるか？▼欧州（ユーロ圏・英国）ECB、12月利下げ幅を巡りラガルド総裁の発言に注目 ▼アジア・オセアニア（日本・中国・豪州・NZ）植田日銀総裁の発言から12月追加利上げの可能性を探る ▼新興国（トルコ・…

今すぐチェック▼

チェックポイント

トルコが中東問題へ積極的にかかわる事態・・・様子を見る

MarketNEXTのご紹介

FX取引に必要な情報収集をアプリ1つで！ - MarketNEXT

MarketNEXT

外為どっとコム総研が提供するマーケットアプリ。

最新ニュース・レポート・動画・為替情報、

全てが無料で閲覧可能。



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



【MarketNEXT-マーケットネクスト】

- マネ育チャンネルの記事などトルコリラに関する情報はもちろん、マーケットの最新情報からアナリストのレポートまで、トレード前の情報収集が1つのアプリで完結。
- チャートやレート、経済指標カレンダーなど取引に欠かせない情報も1つのアプリに集約。
- 豊富な記事や動画でトレード手法やテクニカル分析が学べる。
- 気になる記事のブックマーク機能で忙しい日々の効率的な情報収集をサポート。



今すぐダウンロード

免責事項

本資料の情報には十分に注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。また本内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本内容を参考にしたことによって生じたいかなる損害につきましても、株式会社外為どっとコムならびに株式会社外為どっとコム総合研究所は一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

店頭FX（外国為替保証金取引）における新興国通貨取引のリスクについて

当社取扱通貨のうち、いわゆる新興国通貨に分類されるトルコリラ・南アフリカランドおよびメキシコペソはインターバンク（銀行間為替 市場）における流動性が主要国通貨に比べ相対的に低く、経済指標発表のみならず金融政策変更やその他政治的要因、さらには地政学的リスク等の要因による突発的な相場急変動が起りやすい環境下であり、こうした急変動時には実勢インターバンクレートのスプレッド（BidとAskの差）も平常時に比べ大幅に拡大する傾向にあります。その場合には当社でもやむなく提示スプレッドを一時的に拡大することがございますので、ポジション保有時、特に法人会員様の高レバレッジ取引における口座管理には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

新興国通貨が高金利である理由について

新興国に分類される国々は概して政治リスクや財政リスクが先進国よりも高く、したがってその経済的信用度は相対的に低い水準にあるため、金利を上げたり税金を安くしたりすることで、信用度の低さを補う投資環境を構築しようとしています。そのため新興国通貨は一般に先進国通貨よりも高金利となる傾向にありますが、長期的には先進国通貨に比べて価値が下がる（＝通貨が下落する）条件を備えているともいえます。